

**各構成機関における令和3年度の実行状況及び
令和4年度の実行予定について**

【広島市自主防災連合会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、新型コロナウイルス感染症予防を徹底した上で、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。 ○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。 ○ 防災ライブカメラ設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練時に防災情報メールによる訓練開始の伝達を行い、メールの伝達が確実に行われたかの確認を行うよう促した。 ○ 回覧等により、避難誘導アプリなどの情報入手手段の確保について周知した。 ○ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、住民へ周知し、設置を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。[継続] ○ 避難誘導アプリや広島市防災情報メールなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。[継続] ○ 防災ライブカメラ設置の検討[継続]
行動する 学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認 ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底した上で、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 ○ 市内各地で小学校区単位の連合組織がそれぞれ防災訓練や研修会などを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認[継続] ○ 自主防災組織等による防災研修会や勉強会等の開催[継続] ○ 広島市総合防災センターの自主防災会研修への参加 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施[継続] ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所と連携して、マンションや民間施設と浸水時緊急退避施設の協定を結び、避難場所までの避難が困難な場合に備えるよう促した。 ○ 防災訓練や研修の際、非常持ち出し袋や家庭内備蓄の必要性について、リストや見本を活用して周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保[継続] ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知[継続]

【広島県消防協会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の感染リスクの観点から、消防団は、災害対応を除き、活動がほとんどできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認〔継続〕 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築〔継続〕
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施〔継続〕
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど） ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）〔継続〕 ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介〔継続〕
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築〔継続〕

【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし <p>（コロナ禍で、ほとんどの活動が止まっている。災害発生時には、今までどおり、近隣への声掛けを行うよう努めているが、現在個々のクラブ員が行っている取組を発表する機会を設ける予定が立てられず、困っている。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施〔継続〕

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的な参加 ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施 ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施 	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的な参加〔継続〕 ○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施〔継続〕 ○ 他県との交流を行い、防災設備の見学等を実施〔継続〕
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加 	○ 特になし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加〔継続〕
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す） 	○ 特になし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す）〔継続〕

【広島県社会福祉協議会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村協等が構築している被災者生活サポートボラネット会議等を通して、平成30年7月豪雨災害及び令和3年7月・8月大雨災害、新型コロナウイルス感染拡大防止をふまえた平常時からの住民・関係機関・団体同士の支援体制づくりを支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村協等が実施する災害ボランティア講座やボランティア事前登録等を通して、7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月・8月大雨災害時の資機材貸出対応をふまえ、市町災害ボランティアセンター等へ迅速にボランティア活動用の資機材供給を行うための資機材拡充・管理など、災害時の円滑な被災者支援の環境整備をすすめた。 ○ 新たにロータリークラブ第2710地区及び山口県社会福祉協議会と災害支援協定を締結し、県域・広域の支援ネットワークを拡充するとともに、関係者間で新型コロナウイルス感染拡大防止を含めた被災者支援の方策協議をすすめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発災時に迅速に被災者支援活動をすすめるための資機材調整や管理等の環境整備をすすめる。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発災時の迅速かつ効果的な被災者支援をすすめるため、県域および市町域における平時からの関係者間での情報共有や、ICTを活用した災害ボランティア事前登録等を含めた協働の取り組み検討をすすめる。

備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における福祉分野の相互支援体制等の構築 ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年7月からICTを活用した災害ボランティア事前登録を開始し、発災時に迅速な活動情報等を提供するとともに、平時から防災・減災の機運を高める働きかけをすすめた。 ○ 災害時の県内社会福祉施設・事業所の相互支援を目的としたネットワークである「広島さっそくネット」において、各エリアによる情報共有や発災時のシミュレーション訓練等を進めた。 ○ 災害時の一般避難所等において、要配慮者への福祉ニーズに対応するため、県、業種別福祉団体、県社協で「広島県災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定」を締結した。 ○ 広島県災害派遣福祉チーム（広島DWA T）構成団体の代表者に対して研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における福祉分野の相互支援体制等の構築〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・県内福祉施設・事業所向けのリーフレット等を作成し、目的や内容を周知するとともに、取り組みを強化する。 ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの構築〔継続〕 <ul style="list-style-type: none"> ・災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時から福祉支援体制を構築する。災害時に福祉支援を行う、広島県災害派遣福祉チーム員（広島DWA T）の登録及び研修を実施し、災害時の派遣要請に備える。また、県民や関係者への広島DWA Tの周知に努める。
-----	--	--	--

【広島大学】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内で作成する「安全衛生マニュアル」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載した。 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布し、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介した。 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）のURLを記載〔継続〕 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介〔継続〕 ○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供〔継続〕

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進	○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進を行った。	○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録の促進 [継続]
行動する	○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底	○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知徹底した。	○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 [継続]
学 ぶ	○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施（年2回）	○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載した。 ○ 地震対策・防災情報等について、学内電子掲示板に掲示するとともに学生・職員に対して周知を徹底した。	○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 [継続] ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 [継続] ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施（年2回） [継続]
備える	○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所について是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] ○ 防災・減災研究センター関係 [継続] ～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。研究報告会、国際シンポジウムなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究成果を行政の施策、事業へ反映させる。	○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う予定。 ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所について是正した。 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組んだ。 ○ 防災・減災研究センター関係 ・6月に「自治体防災担当職員基礎研修」を開催。また、広島県が制作した「ひろしま土砂災害体験 VR」に協力した。 ・令和3年8月の大雨により被災した箇所を対象とした現地調査を実施した。 ・第14回アジア交通学会国際会議（EASTS Hiroshima）を開催し、ウィズコロナ時代における災害時交通マネジメントに関する最新の研究成果を共有した。	○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所について是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] ○ 防災・減災研究センター関係 [継続] ～引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。研究報告会、公開セミナーなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究成果を行政の施策、事業へ反映させる。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
備える		<ul style="list-style-type: none"> ・11/6 ぼうさいこくたいの広島県のセッションに協力し、講師2名が登壇 ・11/17 オープンディスカッション2021「地域を知り、命を守る～パンデミック下での分散避難～」開催、オンラインと会場で、学生・教職員、自治体職員、地域の方など約90人が参加 ・12/15 ががら山実証実験プロジェクト第2観測地点のボーリングを完了し、観測を開始 ・12/23-24 「自治体防災担当職員専門研修」開催、広島県及び10市町から21名が受講 ・1/28 「自治体防災担当職員実践研修」開催、広島県及び6市町から8名が受講 	

【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。	○ コロナ禍によって、会議が開催できていない。よって取組促進の意識向上についての対応はできていない。	○ 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。 [継続]
備える	○ 校長会を通じて、検討に至っていない助け合いネットワークの構築について、再度検討したい。その上で必要性や実効性が確認できるならば、構築に向けて進めていくこととする。	○ 会議が開催できなかったため、具体的な検討に至っていない。	○ 校長会を通じて、検討に至っていない助け合いネットワークの構築について、再度検討したい。その上で必要性や実効性が確認できるならば、構築に向けて進めていくこととする。 [継続]

【広島県PTA連合会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交換を行った	○ 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。[継続]
察知する	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。	○ 学校と連携し、災害を察知するための防災情報の指導を実施 ○ 災害にそなえ、様々なツールが活用できるよう家庭での取組や学校との連携を実施した。	○ テレビやラジオなどのマスメディア、行政放送、防災メールなど様々なツールを活用し、災害を察知するとともに、子供にもツールの活用方法を指導しておく。[継続]
行動する	○ 「てんでんこ」の精神のように、災害が起こったら、誰かからの指示待ちではなく、自分で判断して、自分の身だけは守る姿勢を子供に培う。	○ 広島県教育委員会が実施している、自ら課題を発見し、自ら解決する方法を考えるとこの取組と連携し、災害発生の場合どのような対応をとればいいのかなど、家庭内での取組を進めることを確認	○ 災害への備えとして、自分で判断し自分で行動できる子どもの育成を図る。 また、県教育委員会に対して、保護者と連携した災害教育の充実を要望していく。
学ぶ	○ 広報紙などのツールを使い、防災についての情報を提供する。	○ 防災についての研修会などの情報を広報紙によって提供する。また、本会で実施した防災研修会のDVDも貸し出しを行っている。	○ 広報紙などのツールを使い、防災についての情報を提供する。[継続]
備える	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。	○ まずは保護者自身が防災に対する知識や対処方法をしっかり把握しておく必要があるため、保護者に対して学習の重要性を働きかけている。	○ いろいろな災害についての知識や避難方法を親子で共有し、災害が起きた時の対処方法を事前に共有しておく。[継続]

【広島県商工会議所連合会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	○ 継続して取り組んだ。	○ 主催会議での情報提供の機会を見ながら継続して取り組む

【広島県商工会連合会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。 ○ 県内全商工会の「事業継続力強化支援計画」の実行支援。	○ 県内商工会の事業継続力強化支援を推進するため、商工会員事業者向けに、下記のセミナーを開催した。 ①事業継続リスク啓発セミナー 2回開催し18名、19名が参加 ②事業継続力強化計画策定セミナー 2回開催し20名、18名が参加 ○ 全国商工会連合会主催の事業継続力強化支援会議に出席し、情報収集を行った。	○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続] ○ 県内全商工会の「事業継続力強化支援計画」の実行支援。[継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、メール登録、電話番号等）を纏めて（登録して）おく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県商工会連合会 BCP の災害関連情報入手先を更新（併せて、ハザードマップ、関係機関連絡先等更新）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、メール登録、電話番号等）を纏めて（登録して）おく。 [継続] ○ 発災時に、全職員に情報や指示を早急に通知するための手順の確立。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS を活用して、7月の大雨の際に職員安否確認を実施したことに加え、8月の大雨の際は、事前の注意喚起・指示を行った。これらにより、職員への非常時行動及び連絡体制確立等についての意識付けが実施できた。引き続き、発災時の通信手段として業務用 SNS を積極的に活用し、併せて訓練も計画する。 また、被害状況を管理するシステムの本格利用を開始し、8月の大雨の際は、各商工会より報告を受けた県内の被災事業者に係る情報を、中国経済産業局及び広島県と迅速に共有できた。（報告事業者数 163 件） ○ 業務用 SNS による全商工会職員を対象とした安否確認訓練を実施した。回答率は 91.6%。（11月5日） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。[継続]
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。 ○ 引き続き、商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。 ○ 全商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度もコロナ禍のため、イベントの実施や研修会の実施を控える中、現状学ぶ機会を提供できていない。今後、県内商工会向け BCP フォーマットリニューアルに伴う説明会の開催を検討中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。[継続] ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。[継続] ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。[継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
備える	○全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。	○ 「職員携行カード」は新入職員に対して配布を実施した。 広島県商工会連合会 BCP を見直しを行っており、より具体的な行動指示、被災に係る保険等の手続き等、発災時に悩まないで行動できるような内容となるよう検討中である。 併せて、発災時の書棚等の倒壊による被害を減らすため、事務所内書類等モノを減らす計画を策定中である。 ○ 広島県商工会連合会 BCP の見直しを行っており、より具体的な行動指示、被災に係る保険等の手続き等、発災時に悩まないで行動できるような内容となるよう改善中である。 ○ 倒壊の可能性のある書棚の撤去を行った。 ○ 火災警報器の追加と交換を行った。 ○ 会員事業所の事業継続力強化計画策定支援実施。	○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 広島県商工会連合会 BCP を改善し、運用開始。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。[継続]

【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。 ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。	○ 「備える」の調査実施に併せ、注意喚起を実施予定。 ○ 災害情報の早期収集のための調査実施と調査内容に応じた対策を実施。	○ 会員組合（13JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。[継続] ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。[継続]
察知する	○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。	○ 災害情報の発生可能性が高まった際に、随時情報を確認し、職員の安全確保のための対策を検討。	○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。[継続]
行動する	○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。	○ 左記の訓練に参加した。	○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。[継続]
学ぶ	○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。	○ 衛生委員会職場巡回において、避難器具周辺の点検を実施。結果について議事録等により周知。	○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施

備える	○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。	○ 防災グッズにコロナ対策を意識した備品を備置。 ○ 3月中旬を締切とした、災害協定締結状況の調査を実施予定。	○ マイ・タイムラインの活用促進。 ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。
-----	-------------------------------------	--	--

【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。 ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載	○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【年18回、令和3年9月末日時点8回実施（新型コロナウイルス対策として、内、6回自宅学習）】において、県の担当職員から「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。 ○ 当協会ホームページに「広島県防災WEB」のバナーを継続して掲載している。	○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。[継続] ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載[継続]
学ぶ	○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建株の職員にも、参加を呼び掛ける。	○ 令和3年11月5日に行われた「一斉地震防災訓練」に本部職員11名が参加し、地震発生時における安全行動について確認した。また、この訓練に併せて「ひろしま防災ハンドブック」を本部・支部職員に配付し、減災のための重要事項について周知を行った。	○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建株の職員にも、参加を呼び掛ける。[継続]
備える	○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。	○ 広島市及びその周辺地域の会員に対し、広島市が作成した「町内会・自治会加入促進」のためのチラシを配布し、協力依頼を行った。	○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。[継続] ○ 職員が災害発生時に的確に行動できるよう、「災害時の行動マニュアル」を作成する。

【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進 ○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月発行の会報誌に不動産取引の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載した。 ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【令和4年2月15日時点下半期1回実施（令和3年12月8日）】において、県の担当職員から「自然災害と防災に関する説明義務」と題して、物件取引時の説明内容等について周知を行うとともに、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットの配布を行った。 ○ 継続して掲載中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進[継続] ○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知[継続] ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会加入促進のポスターを事務所内に掲示。チラシを会報誌とともに会員全員に送付。 ○ 独自のマニュアルを事務局内に保管。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知[継続] ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成[継続]

【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業所周辺の避難場所・避難経路を確認する。 ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をコモンズビューワやリエゾン派遣により情報収集を行う。 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。 (各種防災会議等への出席) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月、8月の大雨災害の際にアラートビューワを活用し避難所開設情報を収集。(7月、8月) ○ 自治体主催の防災会議(書面会議・web会議)への参加による情報収集の実施。 ○ 総務省主催の災害時における通信サービスの確保に関する地方連絡会に出席し、情報収集の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をアラートやリエゾン派遣により情報収集を行う。 [継続] ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。(各種防災会議等への出席) [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国管内全ドコモショップおよび、ケータイ安全教室などで防災ハンドブックの配布を行い緊急速報メール、災害用伝言板、どこでも災害・避難情報等の認知度向上を実施。(8月-9月) ○ 各自治体の防災訓練に参加し、ドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上の取組を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。 ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風接近時、大雨の時に社内災害対策態勢を確立。各組織の災害対策メンバーとの連絡体制を構築し事前準備、情報展開を実施。(7月、8月4回) ○ 社外向けにドコモの災害対策の取組に関する説明会および展示会を実施。(6件) ○ 防災週間に合わせて、ドコモ防災ハンドブック配布施策(約3.2万部)を実施。(8月-9月) ○ 大雪災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を実施。(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。[継続] ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外(防災関係機関、報道等)説明会を実施する。[継続] ○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。[継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。 ○ 全従業員対象の災害対策に関するWeb研修を実施する。 ○ 中国支社グループ社員に対し防災士資格の取得を推進するため、ドコモ大手町ビルでの集合型研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社員を対象とした安否確認訓練を実施。(年4回) ○ 全社員を対象とし、社員一人一人の自助力向上を目的としたweb研修を毎月実施。 ○ 防災士取得拡大に向けた集合型研修を開催。(12月) ○ 県域拠点に向けた災害対策業務の勉強会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。[継続] ○ 全従業員対象の災害対策に関するWeb研修を実施する。[継続] ○ 県域拠点に向けた災害対策業務の勉強会を実施する。[継続]
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。 ○ 災害発生時に連携する防災関係機関(陸上自衛隊、海上保安庁等)との訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明(18自治体) ○ 陸上自衛隊訓練(1月)、海上保安庁訓練(2月)に予定も、まん延防止等重点措置期間のため延期 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。[継続] ○ 災害発生時に連携する防災関係機関(陸上自衛隊、海上保安庁等)との訓練を実施する。[継続]

【KDDI株式会社中国総支社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」の、社員向けHPへのリンクの張り付け [継続] ○ 地域のBCPマニュアルの更新・開示継続 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中(大雨・台風の際に利用) ○ 継続中(都度更新の上利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」の、社員向けHPへのリンクの張り付け [継続] ○ 地域のBCPマニュアルの更新・開示継続 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体HPの情報を収集 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中(毎月1日実施) ○ 継続中 ○ 継続中(大雨・台風の際に利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」からの、各自治体HPの情報を収集 [継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。[継続] ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中 ○ 継続中 ○ 継続中 (8/4 他実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 当社の防災への取組や被災地での通信環境を整備するための機器や避難所支援装備の展示により、一般市民への防災意識向上に努める。[継続] ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続]
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。 ○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中 ○ 継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に提供し、お客様に体験いただく。[継続] ○ 社員はEラーニングにより災害対策マップの活用方法を学習 [継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続] ○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中 ○ 継続中 ○ 継続中 ○ 継続中 各種通信機器のバッテリー確認を実施 ○ 継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために装備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続] ○ ビル管理会社と連携した避難訓練を実施 [継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害掲示板(社内用)を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施 [継続] ○ 災害マップ(社内用)を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力することで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能なものとした。[継続] ・各地で災害発生により運用実施 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続中 ○ 継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害掲示板(社内用)を充実させ、各本部の災害対応などの情報一元化を実施 [継続] ○ 災害マップ(社内用)を構築。被災地の地図上に、社員が入手した現地情報を入力することで、よりリアルな独自のハザードマップ作成を可能なものとした。[継続] ・各地で災害発生により運用実施 [継続]

【ソフトバンク株式会社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営に継続 [継続] ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 [継続] ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板/音声お届けサービス、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 [継続] ○ 自社ホームページに災害伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 [継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 [継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達) ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達) ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達)[継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対し e ラーニングの受講を促進(全社通達) ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービス, 災害用音声お届けサービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対し e ラーニングの受講を促進(全社通達) ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービス, 災害用音声お届けサービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験[継続] ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対し e ラーニングの受講を促進(全社通達)[継続] ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知[継続] ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービスの利用方法を周知[継続] ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保[継続] ○ 各事業者の防火・防災体制の把握[継続]

【広島県バス協会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施 ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示（ポスター等の提供があれば） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を実施する。[継続] ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。（ポスター等の提供があれば）[継続] ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるように会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるように、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるように会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。[継続] ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を常に最新にしておく。
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災 Web などの情報を会員に対し周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県防災 Web などの情報を会員に対し周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練への参加を会員に促す。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（実施日未定） ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひろしまバスまつりはコロナの感染拡大を考慮し中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。[新規] ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。[新規] ○ 会員に対し、BCPの策定を促す。[新規] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災 Web などにて運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促した。 ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促した。 ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促した。 ○ 会員に対し、モデルBCPの様式を提示し、策定を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。[継続] ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。[継続] ○ 会員に対し、BCPの策定を促す。[継続] ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。

【広島県医師会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップやポスター等の医療機関の待合室等への掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの掲示を促すほか、マイタイムライン活用の案内をしている。 ○ 啓発ポスターの掲示をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県防災情報メール通知サービス」などについて広島県医師会速報に掲載した。 ○ 気象状況を注視し、被害が発生する可能性がある場合と判断した場合に、市郡地区医師会に危険が迫っていることの呼びかけと情報提供の依頼をお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別避難計画作成モデル事業キックオフミーティング・合同研修会視聴参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方策を共有する。[継続]
学 ぶ		<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本医師会 JMAT 研修参加 ○ NBCR 対策推進機構主催各種講習会参加 	
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する [新規] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太田川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 小瀬川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 8月の大雨の際など、警戒レベルを共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における市区郡地区医師会との密接な連絡・連携のため、緊急時連絡先を整備する。 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する。

【広島県歯科医師会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍により限られた回数となったが、研修や会議等で「会員のためのハンドブック」を利用して啓発活動を行った。 ○ 自然災害の発生が想定される時には、気象予報などに注視するとともに、会員へ注意喚起のFAXを配信した。また、災害発生時には迅速に「災害対策本部」を立ち上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」を利用して、研修や会議等の際に、“広島県防災 Web”により災害時への準備や対応について啓発を図る。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの影響で具体的な実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際、会員の安否確認をスマホやパソコンからも簡単に回答ができるよう「グーグル フォーム」を現在メーリングシステムに代わるものとして検討していく。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの影響で具体的な実績なし。 ○ 1月22、23日に開催された「日本歯科医師会 令和3年度災害歯科保健医療体制研修会」に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。[継続] ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に活用していけるよう、会員の研修を計画的に実施していく。[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの影響で具体的な実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していくことを検討中。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 備蓄の消費期限等考慮し、継続的に見直しをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ対策関連のマスク等と合わせて備蓄状況の把握（棚卸し）を行い、保管期限管理（廃棄）を行った。他県の歯科医師会の備蓄状況（備蓄品、備蓄数等）の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他県の歯科医師会の備蓄状況（備蓄品、備蓄数等）を参考に、必要数量を手配する。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」取り組み内容。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）との災害対応訓練の実施を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行った。 ○ コロナの影響で具体的な実績なし。 ○ コロナの影響で具体的な実績なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安否確認システムの構築。 [継続] ※「察知する」取り組み内容。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県（広島県を除く）との災害対応訓練の実施を検討していく。[継続]

【日本放送協会広島放送局】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。5年前の土砂災害とあわせ地域の減災・防災を呼び掛け続ける。 ○ 新たな豪雨，台風，地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。 ○ 訪日外国人の増加を踏まえ，L字放送などで外国人向け放送への誘導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いずれも実施。特に西日本豪雨から3年目の2021年7月6日には災害の教訓と課題を伝える30分の特番を放送。 ○ 2021年7月、8月と記録的な大雨が続いた際には、繰り返し特設放送を実施。土砂災害の専門家にも出演してもらうなどして、災害から身を守るための放送を続けた。 ○ 2022年1月22日の未明に広島で震度4の地震を観測した際には、午前2時から特設ニュースを2回に渡って放送したほか、L字放送（字幕）を2時間余りにわたって継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節目をとらえて西日本豪雨災害の教訓をくみとる報道を続ける。[継続] ○ 新たな豪雨，台風，地震などの災害には臨時特設のニュースで身を守ってもらうための情報提供に取り組む。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め，視聴者，県民のみなさんの災害察知力に貢献する。[継続] ○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組。[継続] ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット，アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試み。 ○ Lアラート由来の避難情報を、対象自治体世帯のテレビに自動表示するシステムの導入。 [継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れて「NHKニュース防災アプリ」のQRコードをテレビ画面に表示して、ダウンロードしてもらうよう告知。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン向けの『NHKニュース防災アプリ』の普及に努め，視聴者，県民のみなさんの災害察知力に貢献する。[継続] ○ 避難を呼びかける「避難特設ニュース」※をさらに進化させる取組。[継続] ※ 行政機関のHPを活用した記者解説やデータ放送、インターネット，アプリなどを通じて視聴者にご自分で周囲の様子を調べてもらう試み。 ○ Lアラート由来の避難情報を、対象自治体世帯のテレビに自動表示するシステムの導入。 [継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する ・ 学ぶ ・ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施。 ○ ライフライン放送やL字放送の訓練を実施。[継続] ○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。[継続] ○ 広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設、防災・減災に役立つ知識や情報を提供。[継続] ○ 中国地方整備局太田川河川事務所の水防訓練において放送対応の確認 [継続] ○ 前年度実施の「水害シミュレーション」の結果を元に、水害罹災時の放送継続に向けたフローを整理し、必要に応じて対策を講じる。[継続] 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週金曜日に、広島で強い揺れを観測したという想定で、緊急に放送を立ち上げる訓練を実施。 ○ 西日本豪雨から3年半のタイミングで、県内の砂防ダムの整備状況などをまとめて、夕方のニュース番組で放送。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道の教訓を共有する取り組みを実施。 ○ ライフライン放送やL字放送の訓練を実施。[継続] ○ 定期的に地震に備えた訓練を行う。[継続] ○ 県内の主要河川の危険箇所や砂防ダムの現状などを細かく紹介する防災企画シリーズの放送。 ○ 過去に災害が起きた土地の歴史や地理などを専門家が訪ね、わかりやすく伝えるシリーズや番組の放送。

【株式会社中国放送】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る 察知する 行動する 学ぶ 備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む。 ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨等に関連した継続的な防災報道に加え、大雨時などに地上波特別枠を設けたり、Web配信したりして情報発信した。 ・ GW5月3日～5日、災害関連の30分番組シリーズ放送。 ・ 警戒レベル表記の変更、土砂災害警戒情報の発表区域変更、線状降水帯発生情報など企画ニュースを通じ周知をめざす。(社内勉強会も) ・ 6・29 豪雨災害から22年、西日本豪雨3年報道。静岡・熱海災害を機に防災企画。8・20 広島土砂災害7年。8月の記録的な大雨検証など。 ・ 7月7日、中国地方初の線状降水帯情報。8日未明から土砂災害警戒情報、氾濫危険水位超え、避難指示。朝、三原市に緊急安全確保など。8日 	継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害報道・防災情報に力を入れ、スタッフ研修・番組制作などに継続して取り組む。 ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。

<p>知る</p> <p>察知する</p> <p>行動する</p> <p>学ぶ</p> <p>備える</p>		<p>午前6時23分からL字情報・ミニ枠・各番組で中継（全国ネット）など。9日まで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月9日、呉市に台風9号上陸。前夜から激しい雨、北広島町に緊急安全確保。9日午前5時半からL字情報、ミニ枠、各番組に特枠。 ・ 8月12日以降、記録的な豪雨関連報道。大雨特別警報（13日広島市、14日広島市・廿日市市）、緊急安全確保（安芸高田市・北広島町・広島市・廿日市市）、河川氾濫など。特枠の放送・配信 13日9時56分～（30分間）、14日9時25分～（45分間）、14時～（30分間）、16時～（1時間）。ほかL字情報。15日早朝から各地被害をヘリ撮影し、Web配信。 ・ 8月17日～19日、警戒呼びかけ。特枠の放送 17日9時55分～（30分間）。各番組への中継（全国ネット）L字情報。 ・ 9月17日 台風14号接近。L字情報、各番組で中継など（全国ネット）。 <p>○ 災害報道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日向灘でM6.6地震、大分・宮崎で震度5強（広島で震度4） <p>○ 防災意識を高める継続的な報道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月、広島市地下の雨水管内部を紹介 被災後の交通手段 ・ 12月、国道2号の越波対策 <p>○ ウェザーセンター（気象予報士4人）による気象情報全般の発信力強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に気象への関心を高める取り組み。（放送・Web） ・ 中国地方整備局河川カメラ網 	
--	--	--	--

知る 察知する 行動する 学ぶ 備える		<p>の活用。増水時以外も映像に触れる機会を増やす取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Yahoo!防災マップとのパートナーシップ連携。放送等での活用。 ○ ラジオとの連携。 ○ JNN系列を挙げての災害対応策にかかる継続的協議・訓練。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災担当者間の日常的な意見交換、会議の実施。各種研修等への参加。災害報道訓練。 ○ 自社での地震報道訓練等の実施。 ○ 関係機関と連携した防災催し・勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・気象予報士を中心に積極的に参加。 	
---------------------------------	--	---	--

【株式会社テレビ新広島】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供 ○ 行政機関や広大等研究機関が取り組む、豪雨災害時の避難行動の在り方の検証について、広く周知できるよう対応 ○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県や各市町、大学など研究機関の取組みや防災に関する情報を日頃の「ニュース」や「満点ママの防災企画」で放送した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供[継続] ○ 引き続き県内各市町と「災害情報発信協定」を締結し、平時より、ニュース、番組等を通じて、災害への備えを伝えるとともに「避難の重要性」を訴えていく。 ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」発出時に速報スーパー対応するなど、早期避難に繋がる取組みを行う。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知 ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知 ○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結。（広島県及び13市町と締結済み） 【協定のポイント】 ・「警戒レベル」を用いた「避難情報」等を分かり易く、より早く、正確に伝える。 ・平時から県内の様々な防災に関する取組みを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。（広島県及び15市町と締結済み。5市町と協定書取り交わし済み。） ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続]

<p>察知する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達 ○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発 ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「警戒レベル3(高齢者等避難)」発出時に「速報スーパー」するなど、早期避難行動の促進に取り組む。 ・「伝え方の工夫」を課題とし、避難に繋がる情報発信に取り組む。 ・災害発生後は「生活支援情報」をより早く、正確に伝える。 <p>【台風9号対応】8/8-9 定時ニュース枠に加え、ミニ枠を差し替えて大雨に関する情報を放送</p> <p>【大雨8月12日~8月20日】 定時ニュース枠に加え、ミニ枠を差し替え、さらにL字放送も並行して送出するなど、大雨に関する情報を放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年10月 「家の中の地震対策」 ・11月 「非常用トイレ実験」 ・12月 「非常食」 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年1月 「雪害対策」 ・2月 「春一番」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害情報等をテレビの字幕放送(L字放送等)で周知[継続] ○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供[継続] ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達[継続] ○ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発[継続] ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供[継続]
<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化 ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いずれも実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化[継続] ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発[継続]
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 	<p>【防災情報を放送】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨警戒レベル変更・避難指示1本化について 災害への備えについて家族で話し合おう (ハザードマップの確認、分散避難、避難先・もしはぐれた時の待ち合わせ場所は具体的に決めておこう、家族の連絡先、公衆電話の使い方を子どもにも) ・線状降水帯について 今年から始まった線状降水帯の発生情報について放送(発表を待たずに避難を!) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証[継続] ○ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供[継続] ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供[継続] ○ 気象警報について広島市が8行政区ごとの詳細発表になり、より地域の実情に合った防災情報発信に切り替

<p>学ぶ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 早めに避難するためにはどうしたらいいか 避難のタイミングの考え方について (ハザードマップ・避難経路など) 大雨当日の行動について 土砂災害の前兆・もしその場に出くわしたら・・・ 共助について（周りの人への声かけについて） 	<p>わった事案など、減災につながる最新の防災情報などについては、機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る</p>
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組などで再度取り上げ注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災グッズを見直そう 新生活、新年度を機会に持ち歩く防災グッズの見直しを！ (ホイッスル、小型ライト、小銭、災害避難カードなど)災害避難カード作成の仕方 ・ 気象情報の見方 (土砂災害警戒情報、キキクルの見方) 気象庁HP以外にも県の防災Webやヤフーの防災アプリの活用も ・ 非常用持ち出し袋の中身 あったら便利なものは何か (眼鏡や薬など、自分がないと困るもの、マスクや消毒液などの感染症対策、非常用の食べ物でおススメ携帯用おにぎり) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 [継続] ○ 気象情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 [継続]

【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 ○ 津波の日、減災HPなどの紹介 ○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週1で展開。 	<p>左記の取組を実施した。</p> <p>※「みんなで防災プロジェクト」の一環で特別番組「学校では教えてくれない！みんなの防災教室」を放送。事前復興や最新防災グッズなど紹介。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 [継続] ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 [継続] ○ 津波の日、減災HPなどの紹介 ○ 「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む [継続] ○ 「みんなで防災プロジェクト」

知る	県民の防災意識を高める。		ト」コーナーを週1で展開。 県民の防災意識を高める。 [継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達[○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載 ○ 広テレアプリにより、スマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。 	<p>左記の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※「キキクル」「yahoo 防災マップ」の活用。 ※中国地方整備局から河川カメラの映像を提供していただく協定を結び、異変をより早く察知できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達[継続] ○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達[継続] ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載[継続] ○ 広テレアプリにより、スマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ※ 防災プロジェクトで、県内各地の自治体と「防災パートナーシップ協定」をスタート。自治体からの緊急情報伝達や、平時の防災取り組みなどで連携する。 ※ 全国的に津波警報、注意報が出た際には、番組中に常時、津波スーパーを出し続けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけ。[継続] ○ 防災パートナーシップ協定を締結した自治体との連携強化[新規] (防災訓練・避難呼びかけシステムの構築・防災への取り組み紹介) ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施した。 ※ 10月15日、18:55から1時間、「学校では教えてくれないみんなの防災教室2」を放送。大雨のメカニズムや備えを学ぶ番組とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 [継続]

備える	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。	○ 左記の取組を実施した。 ※ 8月の大雨について、ドキュメント番組「WATCH」で「真夏の停滞全線前線」(8月)を放送。県内の被害と「逃げる」意識について伝えた。 ※ 3月6日には、「いま動こうみんなで防災プロジェクト～いのちを守るために～」を放送。土砂災害ならびに南海トラフ地震への備えを啓発した。	○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 [継続]
-----	----------------------------	---	------------------------------------

【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用(土砂災害危険度情報のチェックの仕方など)を啓発 ○ ニュース番組で、「防災」(豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど)をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める。 ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6・29豪雨災害や西日本豪雨災害の周年直前から、警報レベルの変更など企画放送。さらに自社HPで公開し、周知徹底を図った。 ○ 大雨被害や台風時には、24時間体制でL字放送を実施。警戒を呼び掛けた。 ○ 行政や企業などの防災協定について取材し、放送した。 ○ 過去の災害地に赴き、防災対策を取材。放送に結び付けた。 ○ データ放送で気象状況を伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用(土砂災害危険度情報のチェックの仕方など)を啓発[継続] ○ ニュース番組で、「防災」(豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど)をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める[継続] ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかけた。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設(「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。) ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社HP上に「広島防災」といったページを開設。過去に放送した防災VTRやその時々の気象情報を伝えている。広島県防災WEBのリンクも貼り、より詳しい県内気象情報の発信に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続] ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設(「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。)[継続] ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続]

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信 ○ 警報など随時ニュース速報で対応 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月・8月の台風及び大雨災害時には、24時間体制で対応。L字のほか動画配信でその都度啓発VTRを配信。 ○ 自社気象予報士や契約した気象会社と情報交換しながら、特別番組を放送。災害現場の状況や、気象予報士による解説を随時放送した。 ○ L字情報をホームページとリンクさせ、情報を多チャンネルで発信していった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信[継続] ○ 警報など随時ニュース速報で対応[継続] ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月・8月の台風や大雨予報があった時に、夕方番組内で、警戒レベルの変更や、避難場所などの特集を組んで啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨シーズン直前に「広島防災」キャンペーンを行い、気象や避難など多角的な企画VTRを放送。HP上でもアップし幅広い人に周知した。 ○ 年末年始におきた火事について、特番を作り、なぜ火事が防げないかなどの原因究明を行ったうえで、乾燥シーズンの火事防止の呼びかけを行った。 ○ 昼休みを利用して、地震発生マスターカット訓練を平日毎日行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介[継続] ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう[継続]

【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで減災」推進大使（広島エフエム放送 磯貝氏）が各生放送番組に出演して周知（1か月に1回程度出演） ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 ○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に実施。6月と9月に2回実施するなど、実施時期を臨機応変に変更した。 ○ コロナ禍によりイベント出演機会がなかった ○ 上記番組内出演枠にて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 ○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討 ○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に、情報デスク体制を組み、実施。 ○ 情報の内容を吟味し、土砂災害・洪水どちらへの警戒なのかを分ける等の工夫を行った。 ○ あわせて Yahoo! 防災速報のアプリも紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 避難情報が発表された際には、コンパクトに正しく伝える工夫を検討 ○ 番組内での「防災情報メール」登録の呼びかけ
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加 その後、机の下に身を守るスペースの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ シェイクアウト訓練は、コロナ禍により実施しなかったが、避難経路の確認などを行った 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」に従業員が参加 その後、机の下に身を守るスペースの確保
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的実施 ○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施） ○ HFM 防災ハンドブック 2021 の制作、配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的実施している。 ○ 9/5（日）CLiPHIROSHIMAにて、避難MAPを作るワークショップを実施。 ○ 防災ハンドブック「ひろしま減災授業」を作成し配布。9月末に配布終了。2022年度の発行に向けて協議を開始している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的実施 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について研修を実施 ○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知（「防災ワークショップ」の実施） ○ HFM 防災ハンドブック 2022 の制作、配布
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起 (7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月1日前後の「備えるフェア」については、2回告知を実施。 ○ 引き続き実施している。 ○ 防災ハンドブック発行に合わせ、8/30（月）～1週間「防災WEEK」として、午前中の番組内で特集を実施。3月11日前後に、2回、大使出演枠を取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起 (7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定)

【株式会社中国新聞社】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国新聞社は、グループ企業の防災意識を高めるため、毎年9月に「安全を考える集い」を開催しています。今年は、9月16日に、広島工業大学の渡壁守正教授を迎え、南海トラフ巨大地震や直下型地震の被害想定と、一人一人がどう対応すべきかについて講演していただきました。社内の会議室で約50人が聴講。ウェブと合わせて計約100人が当日参加しました。リアル参加できなかった社員のため、社内ポータルに動画をアップし、グループ会社にはDVDを配布、販売所を対象にした再放送をし、情報の共有を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施 ○ 「ちゅーピーメルマガ」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などの災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し素早い避難を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスを継続して実施している。 ○ 「ちゅーピーメルマガ」や、デジタルでニュースを発信する「中国新聞デジタル」を随時改良し、読者に対して、より詳しい地震や大雨などの災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し素早い避難を促している。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報を速報している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施。[継続] ○ 「中国新聞メルマガ（旧名ちゅーピーメルマガ）」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などに関する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い非難を促す。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報を速報する。 ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」（22年4月スタート）に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨など過去の災害の記事などを分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年は芸予地震から20年、広島土砂災害から7年、西日本豪雨から3年の年だった。それぞれの発生日に合わせて、ワイド特集や連載などを幅広く展開。当時の関係者を再取材し、被災後の自主防災組織の取り組みや、心の問題、地域再生の課題などを多角的な視点で報道し、防災意識を高めてもらうよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害などの報道経験を基に、「命や地域をどう守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も踏まえ、住民意識の向上に寄与していきたい。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月のお盆時期に全国的に水害が発生。その後、各地で地震も相次ぐなど自然災害が頻発している。この事態を受け、中国新聞社でも、常日頃から防災情報を発信することが重要と考え、9月から毎月1回、朝刊に「防災 命を守るために」というページを新設した（1回目は9月8日）。毎月第2水曜日に、グラフィックスで災害が起きるメカニズムなどを解説。ハザードマップの見方などを紹介している。 ○ 9月に始めた朝刊の特設ページ「防災 命を守るために」は、毎月第2水曜日に掲載している。大規模化する災害のメカニズムや避難行動で準備するものなどを一目で分かるように工夫している。これまで「台風に備える」「南海トラフ地震」「活断層」などを連載。今後も継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたい。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今春、中国新聞の記者でチャットルーム「防災記者ネット」をつくった。報道センターの気象・災害を担当する記者が、中国地方整備局や気象庁などの勉強会、記者会見などで得た情報や資料を共有している。これまでは災害を担当した記者だけが専門的になるという状況だったが、多くの記者に専門記者になってもらおうと考えた。現在、支社局の記者、デスク、管理職を含め27人が登録している。 	

【広島地方気象台】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取組」を受け、「線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起」、「大雨特別警報（土砂災害）」の改善、「指定河川洪水予報の改善」を始めとする主な取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 ○ 大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出水期までに「防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取組」について自治体、報道機関等へ周知広報を実施した。 ○ 地域住民に避難判断の参考として、段階的に発表する防災気象情報を活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行った。 ○ 大雨特別警報（土砂災害）の基準変更及び大雨特別警報の位置付け・役割について自治体、報道機関等へ周知広報の徹底を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取組」を受け、令和4年度出水期中の情報改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 ○ 令和3年度に引き続き大雨特別警報の位置づけ・役割の周知徹底を行う。
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。 ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関等が参加する防災気象連絡会や報道機関との懇談会を通じて、防災気象情報の周知広報を行った。 ○ 防災気象情報に関するYoutube解説資料を定期的に作成し、自治体防災担当者へ共有し防災業務への支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続]
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。 ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨警報等が発表される時は、県・市町に対してホットラインによる事前連絡を行った。また、平時においても、県に対して朝夕に気象解説を行い、県から市町へ情報を共有してもらうなど連携をとっている。 ○ 南海トラフ地震を想定して訓練を実施し、職員の安否確認や機器障害時等の対応確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。[継続] ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。[継続]
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍で各種団体が開催する研修の中止が相次いだり、TV会議形式による研修依頼があれば、積極的に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上、防災気象情報の普

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
	<p>及啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。 ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体から気象防災ワークショップの開催依頼が来ていたが、コロナ禍により開催は見送った。今後も開催依頼が来れば積極的に取り組んでいく。 ○ コロナ禍により開催は見送ったが、今後も開催依頼が来れば積極的に取り組んでいく。 	<p>及啓発を図る。[継続]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。[継続] ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して実施する。[継続]
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。 ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。 ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取組みを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雨事例について、県・市町の防災担当者と振り返りを行い、気象状況に応じて段階的に発表する防災気象情報から気象台が持つ危機感がわかること等の説明を行った。 ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化の取組として、梅雨末期の大雨、台風接近時、8月中旬の停滞前線による長雨の時に、県庁及び広島市に職員を派遣し、防災気象情報の解説等を行い、県や広島市の防災活動を支援した。 ○ 首長訪問や市町の防災担当職員との懇談会等の機会を捉えて、「あなたの町の予報官」の取組について市町への説明を行った。また、「中国地方の8月の記録的な大雨」ととりまとめた報道発表資料や気象庁のあらたな取組等のおしらせをメール送付し周知の徹底を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続] ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続] ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取組みを実施する。[継続]

【中国地方整備局】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続実施中 ○ 太田川総合水防演習を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別で実施する分散開催し、実施内容をWEBサイトにとりまとめ公表した。 ○ 10月3日に広島テレビ主催の防災イベントに参加（マツダスタジアム） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。[継続]
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局WEBサイト等において、以下の防災情報を提供 <ul style="list-style-type: none"> 【全般】防災体制情報, TEC-FORCE 活動状況 【河川】川の防災情報（洪水予報, 水防警報, ダム放流通知）, 浸水想定区域図, 水文水質データベース, NHK データ放送での配信 ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラやYouTubeを活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 平成30年7月豪雨で土砂災害により甚大な被災を受けた9地区において 早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開 ・ 情報発信の強化のため、ツイッター等のSNS公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ TEC-FOCE の活動状況について、7月に島根県の雲南市、飯南町、8月に広島県の北広島町の活動状況をHPに掲載し、情報提供を実施。 ○ その他の防災情報の提供については、継続実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局WEBサイト等において、以下の防災情報を提供[継続] <ul style="list-style-type: none"> 【全般】防災体制情報, TEC-FORCE 活動状況 【河川】川の防災情報（洪水予報, 水防警報, ダム放流通知）, 浸水想定区域図, 水文水質データベース, NHK データ放送での配信 ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラやYouTubeを活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進。 ・ 平成30年7月豪雨で土砂災害により甚大な被災を受けた9地区において、施設整備完成までの間、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開 ・ 情報発信の強化のため、ツイッター等のSNS公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
	<p>【道路】道路情報提供(交通規制, 道路気象情報), 事前通行規制区間情報, 冬季道路情報(道路ライブ画像, 通行止め予定区間)</p> <p>【港湾】ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)</p> <p>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施</p> <p>○ 平成30年7月豪雨で土石流被害を受けた地区において、設置したワイヤーセンサーによる警戒</p>	<p>○ 継続実施中</p> <p>○ 継続実施中</p>	<p>【道路】道路情報提供(交通規制, 道路気象情報), 事前通行規制区間情報, 冬季道路情報(道路ライブ画像, 通行止め予定区間)</p> <p>【港湾】ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)</p> <p>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施[継続]</p> <p>○ 各放送局への河川カメラ映像の提供。[継続]</p> <p>○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、気象台との合同記者会見を実施。[新規]</p>
行動する	<p>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練</p> <p>○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援</p>	<p>○ 継続実施中であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会は未実施。 減災対策協議会を通じて要配慮者利用施設の避難確保計画の策定促進について情報提供する等の支援を実施。</p>	<p>○ 「中国地方の防災に関する連絡会」において、下半期に大規模災害連携訓練(図上訓練)を実施予定。[新規]</p> <p>○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成、避難訓練実施の推進について、減災協議会を通じて支援[継続]</p>

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） ・ 太田川総合水防演習について、合同による現地開催を取り止め、個別で実施する分散開催とする。 ・ 水防技術講習会を R3. 4. 24 に広島市で開催予定。 ○ 防災教育の取組強化 ・ 教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施） ○ マイ・タイムラインの普及 ・ 流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月3日に広島テレビ主催の防災イベント（マツダスタジアム）に参加し、プロ野球観戦者を対象に土石流模型実験装置による防災意識の向上を図った。 ○ 11月7日に広島テレビ主催の防災イベント（エキキターレ）に参加し、浸水体験及び土石流模型実験装置を出展し、防災意識の向上を図った。 ○ 1月24日に中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方防災研究会講演会を「南海トラフ地震に関する中国地方での備え」をテーマに Web 配信で開催した。 ○ 太田川総合水防演習を新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別で実施する分散開催し、実施内容を WEB サイトにとりまとめ公表した。 ○ 水防技術講習会を R3. 4. 24 に実施済。 ○ 12/10 大芝小学校で、大芝水門の見学と放水路の歴史や近年の流域治水についての出前講座を実施。 ○ 10/26 福山市光小学校に対し「洪水からいのちを守るために」と題して出前講座を実施。 ○ 11月24日に福山大学において、地域防災リーダー養成講座を実施した。 ○ 10/26 福山市光小学校でマイ・タイムライン出前講座を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定）[継続] ○ 防災教育の取組強化 ・ 教育現場と連携・協力し、防災教育の支援を実施（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供、気象台・地理院とも連携した取組を実施）[継続] ○ マイ・タイムラインの普及 ・ 流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。[継続] ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催。[継続]

【広島県市長会（広島市）】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市 HP、市政出前講座、講演会・研修会等により、災害に関する一般知識や平素からの備えについて周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。〔継続〕
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報の入手方法の周知 ○ 広島市防災情報メールの登録促進 ○ 緊急速報メールの活用の周知 ○ 防災受信機の利用促進 ○ 防災ライブカメラの設置補助 ○ 避難誘導アプリの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市 HP、SNS、市政出前講座、講演会・研修会、小学校への案内、デジタルサイネージ及びポスター掲示等により周知し、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 ○ 広島市防災情報メールの登録促進 ○ その他の避難情報の入手方法の周知（広島市防災ポータル、広島市公式 LINE、広島市公式 SNS、テレビ、気象庁 HP など） ○ 緊急速報メールの活用の周知 ○ 防災ライブカメラの設置補助
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 ○ 避難誘導アプリの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度により、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進のために以下の普及啓発を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発動画を本市の公式 YouTube、Twitter、Facebook での配信するとともに、マツダスタジアムや本通り交差点の大型モニターなどでも放映した。 ・公共施設やサービスエリア、市内の大学にチラシ・ポスターの配布、市立小学校、中学校、高校の児童・生徒へチラシを配布した。 ・イベントや研修会等で使い方と機能を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助〔継続〕 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援〔継続〕 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 ○ 災害を迫体験できる取組の推進 ○ こどもを対象とした防災体験学習の実施 ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まちづくり事業により、防災講演会や研修会を開催するとともに、体験学習に対する支援を実施（講師謝礼金、設備の借り上げ費用等）した。 ○ 「たちまち防災」※を活用した研修を地域防災リーダーが実施した。※たちまち防災配布数～18,000 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援〔継続〕 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催〔継続〕 ○ 災害を迫体験できる取組の推進〔継続〕 ○ こどもを対象とした防災体験学習の実施〔継続〕 ○ 普及啓発冊子「たちまち防災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。〔継続〕
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度第1回防災士養成講座を12/4, 12/5に実施し、185名の地域防災リーダー（防災士）を養成した ※第2回目については、新型コロナウイルス感染症の影響により、来年度に延期した。 ○ ショッピングモール等が開催する防災イベントと連携し、避難誘導アプリのダウンロードや非常持ち出し品等の日頃からの備えを啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダーの養成事業の実施〔継続〕 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発〔継続〕

【広島県町村会（坂町）】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ VACANのシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ 広島県防災入力システムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ○ エリアメールによる、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル） ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 ○ エリアメールによる、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル） ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 総合防災訓練を実施し、関係機関との連携協力体制を確立するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施した。 ○ 「総合防災訓練」は、令和4年度に延期とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 避難準備・高齢者等避難開始を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 消防団員への普通救命講習の実施 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 総合防災訓練を実施し、関係機関との連携協力体制を確立するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図る

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催 ○ 自主防災組織養成講座開催 ○ 地域の自主的な防災講座の支援 ○ 防災士養成講座受講者の募集 ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる施設を整備し、災害の実態を後世に伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座は全6回中第4回まで実施し、第5回、第6回を延期した。 ○ 災害や避難について学べる施設はR4.3完成予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催 ○ 自主防災組織養成講座開催 ○ 地域の自主的な防災講座の支援 ○ 防災士養成講座受講者の募集 ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる施設を開設し、災害の実態を後世に伝えていく
備 える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ

【広島県教育委員会】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知 る	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 令和3年度学校安全指導者講習会において、ハザードマップ等の最新情報を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導
行 動 する	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 11月の一斉地震防災訓練への参加に係る通知を发出して、防災教育の充実を働きかけた。 ○ 災害種別ごとの危機管理マニュアルに不備のある学校を個別に指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災計画の見直しにより新たに要配慮者利用施設として位置付けられた公立学校に対して、関係法令に基づいた対応をするよう、個別に指導した。 	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度学校安全指導者講習会において、学校における取組の好事例を紹介し、各校の防災教育の取組の充実を図るよう指導した。 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度初任者研修において、「安全教育の進め方」に関する講義・演習を行い、内容の充実に向けた指導を行った。 ・「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した中学校の取組を、公立学校の全初任者に対して紹介し、取組の充実を図るよう指導した。 ・「防災教育の手引」に、地学の観点から作成した防災ハンドブックの取組やローリングストックに着目した保存食レシピ本作成の取組など、子供たちが主体的に行動している事例を追加掲載する予定で、取組を進めている。 ○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先HPを紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供 		<ul style="list-style-type: none"> ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供

【広島県】

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>知る</p>	<p>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施 ・ 防災教室、広報番組、イベント等において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一歩」などの利用促進 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p>	<p>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/17～6/18) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて定期的な広報を実施した。 TSS11回、ホム10回、RCC6回、広テレ4回 HFM12回、中国新聞2回、TJ2回、Wink2回 ・ 広報番組において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一歩」などの利用を促進した。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災教室やイベントが中止となったため、「みんなで減災」推進大使を起用したユーチューブチャンネル「広島県防災」を開設し、呼び掛けを実施した。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の企業への訪問は見送った。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2021」のセッションに、広島大学防災・減災研究センターやソフトバンク㈱などと連携し、オンラインで参加した。(11/6) <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムライン推進員による出前講座を開始した。 《実施済》 125校(378コマ) 《受講者数》 9,859人 ・ マイ・タイムラインを作成した小学校の割合は74.4%（前年比+18.3pt） ・ 低学年用の改訂版教材を県内小学校のすべての低学年児童に配布した。 	<p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、判断する。 <p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の防災教育に対する多様なニーズに対応するため、土木建築局と連携し、これまで県が実施していた防災出前講座を統合・拡充した「ひろしま防災出前講座」を開設し、県内全小学校に展開していく。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>知る</p>	<p>○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</p> <p>○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。</p> <p>1. BCPの策定 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制の整備を訴える「BCP策定・BCM活動推進フォーラム・セミナー」の開催、BCPを策定するための「BCP策定講座」の開催及び、BCPの効果検証等を試みる「机上演習」を引き続き実施する。</p>	<p>・ソフトバンクロボティクス㈱と共同で、人型ロボット「Pepper」を活用した出前講座のコンテンツを制作し、出前講座を実施した。</p> <p>・新たに東京海上日動火災保険㈱と連携したマイ・タイムライン出前講座を実施した。</p> <p>・NHK広島放送局と連携し、「NHKポケット防災手帳」にひろしまマイ・タイムラインを掲載した。</p> <p>・小学校の教科書や学習教材にひろしまマイ・タイムラインが掲載されることになり、使用承諾を行った。</p> <p>R6～ 啓林館(小4理科教科書) R4～ 青葉出版(小4社会学習教材)</p> <p>○ マイ・タイムライン出前講座等において活用開始した。 ≪活用数≫ 58 団体(学校、市町等) ≪視聴者数≫ 約2,000人</p> <p>・広島大学防災・減災研究センター監修のもと制作したVR教材に河川氾濫バージョンを作成した。</p> <p>1. BCPの策定 COVID-19感染拡大により、延期や参加人数の制限を行う一方で、WEBの非集合型講座に変更すること等による、途切れない継続的な開催に注力した。 (令和4年2月末現在) ■フォーラム・セミナー 424人 ■BCP策定講座 114社(最終142社) ■BCP検証机上演習 52社 個別相談・専門家派遣の希望が多数あったことから、今年度より個別相談会等個社の課題に対するの支援も実施した。 (個別相談会形式で8社、個別の質問対応で11社13件の支援を実施)</p>	<p>○ 継続して取り組む ・河川氾濫バージョンを追加し、出前講座等で活用する。</p> <p>1. BCPの啓発 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP普及推進フォーラム・セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを実施する。</p>

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
知る	<p>2. 映像媒体による周知活動 フォーラム・セミナーへの参加誘導としての映像の配信や、BCM活動の推進としての社内教育・研修用教材の提供等を行う。</p> <p>3. 共助体制の構築 BCPの実効性を高める、共助体制の推進を進めていくために、事象シナリオを通じて、提供できる経営資源や提供スキーム等の、具体的な内容について、専門家を交えて、講座等参加事業者と検討する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組 ・ 標識設置実施計画に基づき、計画的に標識設置を進め、土砂災害警戒区域等の更なる認知度向上を図る。 ・ 土砂災害警戒区域等の3Dマップ化 ・ 「呼びかけ避難」ポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、指定効果を高める取組を継続する。</p> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知 （引き続きデータの整理を行い、マップ上で公表するため池を順次拡大する。）</p> <p>○ 山地災害危険地区情報の周知</p>	<p>2. 映像媒体による周知活動 作成した社内教育・研修用教材について、希望者向けに配信することで企業のBCMを推進するとともに、産業支援機関や企業への訪問による普及・啓発活動を実施した。</p> <p>3. 共助体制の構築 専門家や講座参加事業者へのヒアリングを実施し、「経営資源の提供等を円滑に行う連携強化等の、共助体制の構築を目指すには、共通の経営資源を有する同業組合やサプライチェーンの、組合BCP等の策定を推進する必要がある」とする考えに至った。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組 ・ 土砂災害警戒区域等を示した標識を累計で67小学校区に設置 ・ 自主防災組織の代表者などを対象とした防災教室の開催（12月）、災害警備教養研修（10月）</p> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知 （6月にマップ上で全ての防災重点ため池を公表した。また、スマートフォンアプリ「Yahoo!防災情報」へも情報提供した。）</p> <p>○ 山地災害危険地区情報の周知</p>	<p>2. BCP策定支援 従来の「BCP策定講座」の他に、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業規模や企業の現状を考慮した、より策定しやすい「BCP策定講座」を新設する。</p> <p>3. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合に対する講座や、サプライチェーンの中核企業やその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を新設する。</p> <p>4. BCM活動の推進 BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他に、演習企画・実施のノウハウを修得できる「机上演習企画運営講座」を新設する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組 ・ 標識設置実施計画に基づく計画的な標識設置の推進 ・ 土砂災害警戒区域等の3Dマップ化における建物等の立体化 ・ AR技術を活用した土砂災害警戒区域等の可視化と土砂災害記録の伝承 ・ 「呼びかけ避難」ポスターの掲示や、自主防災組織の代表者を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、区域指定の効果を高める取組を継続</p> <p>○ 「ため池ポータル」による情報の周知 引き続き最新情報に更新していく。</p> <p>○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知</p>

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ ・県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて定期的な広報を実施した。 TSS11回、ホム10回、RCC6回、広テレ4回 HFM12回、中国新聞2回、TJ2回、Wink2回 ・広報番組において、「広島県防災Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、防災教室やイベントが中止となったため、「みんなで減災」推進大使を起用したユーチューブチャンネル「広島県防災」を開設し、呼び掛けを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の企業への訪問は見送った。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進 ・マイ・タイムライン推進員による出前講座を開始した。 《実施済》 125校(378コマ) 《受講者数》 9,859人 ・マイ・タイムラインを作成した小学校の割合は74.4%(前年比+18.3pt) ・低学年用の改訂版教材を県内小学校のすべての低学年児童に配布した。 ・ソフトバンクロボティクス(株)と共同で、人型ロボット「Pepper」を活用した出前講座のコンテンツを制作し、出前講座を実施した。 ・新たに東京海上日動火災保険(株)と連携したマイ・タイムライン出前講座を実施した。 ・NHK広島放送局と連携し、「NHKポケット防災手帳」にひろしまマイ・タイムラインを掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・防災イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、判断する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・学校の防災教育に対する多様なニーズに対応するため、土木建築局と連携し、これまで県が実施していた防災出前講座を統合・拡充した「ひろしま防災出前講座」を開設し、県内全小学校に展開していく。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
察知する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の信頼性を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報の全面改訂, 配色変更 ・土砂災害警戒情報の発表区分の細分化 ○ 個人ごとに最適化した防災情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータ化による民間防災情報コンテンツとの連携 ・アクセス集中対策として土砂災害危険度情報のクラウド化 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教科書や学習教材にひろしまマイ・タイムラインが掲載されることになり, 使用承諾を行った。 <ul style="list-style-type: none"> R6～ 啓林館(小4理科教科書) R4～ 青葉出版(小4社会学習教材) ○ 防災アプリを活用したマイ・タイムラインの作成促進 <ul style="list-style-type: none"> ・本県の開発協力により, 「Yahoo!防災速報」にマイ・タイムラインを作成できる機能が実装され, 8月30日に全国で運用開始された。 ・防災アプリを活用したマイ・タイムライン作成に係る広報プロモーションを実施した。(9月～) ○ 防災情報の信頼性を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> ・新規基準超過地区の可視化など土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 防災情報の信頼性を高める取組 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報の精度向上等の検討 ・引き続き, 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携による, テレビ, ラジオ等を通じた, 定期的な広報の実施 ・県内の大規模イベント等における, 「みんなで減災」推進大使による周知 ・「一斉防災教室」の実施 ・県内企業を訪問し, 従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> ・地域, 企業, 学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/17～6/18) ・全県民を対象に一斉地震防災訓練を実施した。(11/5) ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて定期的な広報を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> TSS11回, ホーム10回, RCC6回, 広テレ4回 HFM12回, 中国新聞2回, TJ2回, Wink2回 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・防災イベントについては, 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ, 判断する。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
行動する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、防災教室やイベントが中止となったため、「みんなで減災」推進大使を起用したユーチューブチャンネル「広島県防災」を開設し、呼び掛けを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の企業への訪問は見送った。 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・マイ・タイムライン推進員による出前講座を開始した。 《実施済》 125校(378コマ) 《受講者数》 9,859人 ・マイ・タイムラインを作成した小学校の割合は74.4%（前年比+18.3pt） ・低学年用の改訂版教材を県内小学校のすべての低学年児童に配布した。 ・ソフトバンクロボティクス(株)と共同で、人型ロボット「Pepper」を活用した出前講座のコンテンツを制作し、出前講座を実施した。 ・新たに東京海上日動火災保険(株)と連携したマイ・タイムライン出前講座を実施した。 ・NHK広島放送局と連携し、「NHKポケット防災手帳」にひろしまマイ・タイムラインを掲載した。 ・小学校の教科書や学習教材にひろしまマイ・タイムラインが掲載されることになり、使用承諾を行った。 R6～ 啓林館（小4理科教科書） R4～ 青葉出版（小4社会学習教材） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・学校の防災教育に対する多様なニーズに対応するため、土木建築局と連携し、これまで県が実施していた防災出前講座を統合・拡充した「ひろしま防災出前講座」を開設し、県内全小学校に展開していく。
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 ・地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 ・地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/17～6/18) ・全県民を対象に一斉地震防災訓練を実施した。(11/5) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・防災イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、判断する。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知 ・県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 ・県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて定期的な広報を実施した。 TSS11回、ホム10回、RCC6回、広テレ4回 HFM12回、中国新聞2回、TJ2回、Wink2回 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、防災教室やイベントが中止となったため、「みんなで減災」推進大使を起用したユーチューブチャンネル「広島県防災」を開設し、呼び掛けを実施した。 ・内閣府主催の「ぼうさいこくたい2021」のセッションに、広島大学防災・減災研究センターやソフトバンク㈱などと連携し、オンラインで参加した。(11/6) <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイ・タイムライン推進員による出前講座を開始した。 《実施済》 125校(378コマ) 《受講者数》 9,859人 ・マイ・タイムラインを作成した小学校の割合は74.4%(前年比+18.3pt) ・低学年用の改訂版教材を県内小学校のすべての低学年児童に配布した。 ・ソフトバンクロボティクス㈱と共同で、人型ロボット「Pepper」を活用した出前講座のコンテンツを制作し、出前講座を実施した。 ・新たに東京海上日動火災保険㈱と連携したマイ・タイムライン出前講座を実施した。 ・NHK広島放送局と連携し、「NHKポケット防災手帳」にひろしまマイ・タイムラインを掲載した。 	<p>○ 継続して取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の防災教育に対する多様なニーズに対応するため、土木建築局と連携し、これまで県が実施していた防災出前講座を統合・拡充した「ひろしま防災出前講座」を開設し、県内全小学校に展開していく。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害を可視化するための VR 教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 ○ 啓発推進プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドによる啓発動画や防災アプリからの一斉防災訓練など With コロナを踏まえデジタル技術等を活用したイベントを新たに展開 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ IT 企業と連携しデジタル技術を活用した出前講座の実施など様々な主体と連携し効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害や防災対策への理解を深めるとともに、防災に対する関心を高めていただくため、学生対象の出前講座を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の教科書や学習教材にひろしまマイ・タイムラインが掲載されることになり、使用承諾を行った。 <ul style="list-style-type: none"> R6～ 啓林館（小4理科教科書） R4～ 青葉出版（小4社会学習教材） ○ 災害を可視化するための VR 教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムライン出前講座等において活用開始した。 <p>《活用数》 58 団体（学校，市町等）</p> <p>《視聴者数》 約 2,000 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学防災・減災研究センター監修のもと制作した VR 教材に河川氾濫バージョンを作成した。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発推進プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県公式 YouTube チャンネルにおいて土砂災害啓発動画を公開 ・ 県民テレビ等を活用した土砂災害の啓発 ・ VR とヒト型ロボット「Pepper」を活用した防災教育の実施 ・ 工事現場見学会と組み合わせた砂防出前講座の実施 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 29 小中学校で砂防出前講座を実施 ・ オンライン砂防出前講座の実施 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、実施しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川氾濫バージョンを追加し、出前講座等で活用する。 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策，治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施する。

行動目標	取組内容	令和3年度の取組状況	令和4年度の取組予定
備える	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 ・報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知 ・「みんなで減災」備えるフェアの開催 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知する「みんなで減災」備えるフェアを開催した。 《開催期間》8/28～9/12（16日間） 《参加企業》42企業（2,642店舗） <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 ・マイ・タイムライン推進員による出前講座を開始した。 《実施済》71校（9月末まで） 《実施予定》52校（10月以降） ・低学年用の改訂版教材を県内小学校のすべての低学年児童に配布した。（5月） ・ソフトバンクロボティクス㈱と共同で、人型ロボット「Pepper」を活用した出前講座のコンテンツを制作した。（9月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・学校の防災教育に対する多様なニーズに対応するため、土木建築局と連携し、これまで県が実施していた防災出前講座を統合・拡充した「ひろしま防災出前講座」を開設し、県内全小学校に展開していく。